

火の用心をお願いします！

秋の火災予防運動（防火ポスター・防火パレード）

秋の火災予防運動（11月9日～15日）に伴い、防火ポスターの審査会が11月2日、防火パレードが11月9日に行われました。

防火ポスターの審査会では、市内の小学5・6年生を対象に募集し、応募があった39点の作品から最優秀賞など10点を決定。結果は次の通りです（敬称略）。

【最優秀賞】

今田 陸斗(上志佐小6年)
受賞作品 ▶

【優秀賞】

森下 斗悟(志佐小5年)
山口 純也(志佐小5年)
田中 琉空斗(上志佐小6年)
松崎 弘武(上志佐小6年)
瀬浦 輝愛(今福小5年)
永田 悠紘(福島小6年)
金子 海(福島小5年)
香川 斐奈子(福島小5年)
長谷川 遥菜(御厨小6年)



また、市内一円で行われた消防団と消防本部による防火パレードでは、消防団員や消防本部の職員が消防車や広報車などに乗り込み、風船などの啓発物資を配布しながら火災予防を呼び掛けました。

上志佐保育園では、園児20人がパレードを出迎え、声をそろえて「火の用心！火遊びは絶対にしません」と力強く約束しました。



迫力のある演技！

「姉しゃま - 円谷幸吉とその時代 -」

本市星鹿町出身の劇作家、岡部耕大さん作・演出の演劇「姉しゃま - 円谷幸吉とその時代」が11月8日、文化会館で公演されました。

演劇「姉しゃま - 円谷幸吉とその時代」は、1964年の東京オリンピックのマラソンランナー円谷幸吉と同年代の義弟を、幸吉をしのぐマラソンランナーに育てようとする姉しゃまと呼ばれる長崎から伊万里に嫁いだ女性と、それに絡む人々の人間模様を描いた物語です。

この日、観劇した観客たちは、舞台上で公演する役者の迫力ある演技に魅了されていました。



舞台上で子どもたちが熱演！

「星鹿城山物語 石童丸」

夢と感動ミュージカル&ミュージックステージ（松浦市教育委員会主催）が11月7日、文化会館で開催され、星鹿小学校の全校児童76人がミュージカル「星鹿城山物語 石童丸」を上演しました。

このミュージカルは、星鹿町の城山（刈萱城）にまつわる民話を題材として、本市星鹿町出身の劇作家、岡部耕大さんが作・演出を手掛けた舞台劇。石童丸の物語を子どもたちは気持ちを込めて演じました。



中世の松浦(82) 鷹島海底遺跡

鷹島海底遺跡は、昭和55年から30年以上にわたって調査が行われています。特に、鷹島神崎遺跡は、海底遺跡としては我が国初の国指定史跡に指定されており、蒙古襲来に関する遺物が数多く発見されています。また、竹崎季長の『蒙古襲来絵詞』などの文献史料にも戦いの記録が残されています。さらに、鷹島島内にも蒙古襲来の戦で亡くなった人物の墓や古戦場としての言い伝えのある史跡も多く残っています。しかしながら、これまで島内の陸域部では、元寇に関する遺跡の考古学的調査は実施されていませんでした。

そこで、本年度より5カ年間の計画で、今まで手付かずであった陸域部での調査を行うことにしました。まず、鷹島島内全世帯に対し、元寇に関する遺物の保管状況を確認するアンケート調査を実施しました。このアンケート調査では、数名が保管しているとの報告を受け、今後、聞き取り調査などを実施する予定です。

また、9月28日から10月7日にかけて、鷹島町三里免にある平野遺跡の発掘調査を実施しました。平野遺跡は、中世の遺物が採集されている遺跡です。今回の調査では、2m×3mの調査区を6カ所設定して発掘しました。残念ながら、農地整備が行われていることもあり、遺構の確認には至りませんでした。

来年度は、弘安の役の折に少弐景資が本陣を置いたといわれる龍面庵や外敵の来寇を知らせるために「のろし」を上げた場所といわれる日本山城跡などの遺跡を調査する計画です。もちろん、来年度も鷹島海底遺跡の調査を行います。

世界に誇れる海底遺跡に陸域部の情報を合わせることであれば、元寇の様子をより詳しく復元することが可能となります。鷹島島内における元寇に関する情報をご存じの場合は、ぜひ文化財課にご連絡ください。



▲ 平野遺跡発掘状況

あなたの健康お手伝いします



いきいき松浦21(第2次)の紹介 ～歯・口腔の健康について～

健康分野ごとに市民の皆さまに実践していただいたことをシリーズで紹介しています。

問合せ先＝健康ほけん課健康推進係
☎内線129、166

松浦市民健康づくり 10の心得
7つめ「年に1回はお口のチェックをする」

Q.なぜ「年に1回はお口のチェックをする」のでしょうか？

A. 松浦市の子どものお口の状況を見ると、全国平均に比べてお口のチェックを受けていない人が多く、お口に関するアンケート調査を実施した結果、70%以上の方が歯や口腔内に自覚症状があると回答されました。歯や口腔内の病気は、ほかの病気と比べてもり患率が高く、全身のさまざまな病気とも関係してきます。そのため、年に1回はお口のチェックを受けて、お口の健康や歯周病の予防を行うことが大切です。



Q.具体的にはどんなことに取り組みればいいのですか？

A. 市は健康づくり対策として、子どものう蝕予防を目的にフッ化物利用を推進し、成人に対しては、歯周病予防の啓発と歯周疾患検診の受診勧奨を行なっています。市民の皆さまは、以下のことを心掛けてください。

- ・歯が生えたら、フッ化物を使っとう蝕予防を行う。
- ・毎食後、歯磨き粉を使ってみがく。
- ・毎日の歯みがきに、歯間ブラシやフロスを活用する。
- ・規則正しい食生活を送り、1日30回以上よく噛んで食べる。
- ・かかりつけの歯科医をもつ。
- ・年1回、お口の定期検診を受ける。
- ・専門家によるお口の清掃を年1回受けて、歯みがき指導を受ける。
- ・最後まで治療を受ける。